こんにちは！
名寄市長　加藤剛士です

このコーナーは、Airてっし（エフエムなよろ）との共同企画で、市長がテーマを設定し、Airてっしパーソナリティーと対談した内容を本紙掲載ならびにAirてっしで放送いたします。
今月のパーソナリティーはAirてっし局長の太田敏一さんです。対談では「Airてっし」と表示させていただきます。

もう一つの映画

Airてっし 今年、名寄をキーワードとする映画の上映が、二本決まっているそうですね。

市長 名寄市を舞台に撮影された映画「星守る犬」。いよいよ６月１１日から全国の東宝系映画館で一斉ロードショーされることが決定しました。これを機会に「星のまちなよろ」、「ひまわりのまちなよろ」を広く日本全国に発信していきたいと思います。市民の皆さまにもご協力をよろしくお願いします。

さて、名寄市に大変ゆかりのある映画が、実はこの春もう一本公開される予定です。

主役が何と名寄市在住の滝沢孝師（タカノリ）さん。通称ＣＡＰ★（キャップ）。４６歳。ＣＡＰは、若い頃からアメリカとバイクが大好きなやんちゃな青年でした。２６歳のとき、不慮の交通事故で下半身と左腕の自由を失います。「いつか大好きなアメリカに行って、バイクで大陸横断したい」という夢は、遂に実現できないまま、２０年間も車椅子の生活を続けていました。一日の大半を実家の自室で過ごす生活。自由にならない自分自身への葛藤、悶々とする日々。あるいは家族との確執。そんな彼にとって運命的な出会いが訪れます。

Airてっし それはどなたと、そしてどんな出会いがあったのでしょうか。

市長 高橋歩さん、３８歳。高橋さんは２０歳から飲食店を経営し、さらには出版社を設立、執筆言論活動も始めました。

また、その傍ら家族と世界一周の旅を続けながら、発展途上国での学校経営、自給自足村を沖縄で立ち上げるなど、自由に幅広く活動する青年実業家（？）です。その彼が昨年の初めに、名寄市でトークライブ（講演）をする機会がありました。偶然講演を聞いていたＣＡＰの母、照子さんが感動し、「私の息子と同じにおいがする！」と言って講演後、自宅に高橋さんを強引に連れてきて、２人を会わせます。２人の話は弾みＣＡＰは、「アメリカに行ってバイクに乗って…」と長年温めていた自分の夢を語り出します。高橋さんは２つ返事で「そんなに好きならマジで一緒にいこうぜ！俺の仲間も一緒に来てくれるはずだから、一緒に面倒見るし！」。そんな信じられない軽いノリで、ＣＡＰ＆高橋歩とその仲間たちの旅が実現することになったそうです。

「ＤＯＮ’Ｔ　ＳＴＯＰ」。この映画は昨年の秋に行われたＣＡＰ、母照子さん、ＣＡＰの娘２人、そして高橋さんとその友人の総勢１５名によるアメリカ大陸4,200km、１０日間の旅のドキュメンタリーです。映画は今年５月頃、名寄市で高橋さんのトークライブ＋映画上映を皮切りに全国公開が予定されています。（ちなみに原作本も「(株)Ａ-Ｗｏｒｋｓ」から出版されています）

Airてっし 高橋さん、そしてＣＡＰ達の活気が伝わってきますね。パワフルな旅の土産話などもありそうですね。

市長 実は昨年、この旅行の終了直後、ＣＡＰ，ＣＡＰのご家族、そして高橋さんとその友人たちと市内で食事をする機会に恵まれました。皆さん私と同世代ですが、そのパワーに圧倒されっぱなしでした。特に、高橋さんの眼の輝きには驚きました。「障害なんか関係なく誰もが一人の人間だ」「一度しかない人生、楽しく生きていこうぜ！」気持ちの良い本当にすばらしい仲間たち。旅行中の恥ずかしい話や大変な苦労話をネタにＣＡＰ本人の前で大いに盛り上がった夜でした（笑）。

「障がい」を持っている方でもいきいきと豊かに生きている人はたくさんいます。一方で五体満足であっても、幸せを実感できずにいる人もいるかもしれません。何が「障がい」なのか。それは自分の中の物差しで決めているだけなのかもしれません。私は、すべての市民が明るく元気であって欲しい。だから「明るく元気なまちづくり」とこれからも言い続けよう。そして市民の皆さんにいつも笑顔で「夢」を語っていこうと思います。この映画も多くの市民や全国の皆さんに見ていただき、たくさんの気づきと感動を与えてくれればと願っています。

Airてっし 若者のカリスマ的存在といわれる高橋さんらによってＣＡＰの夢が現実のものとなり、映画となりました。一歩踏み出す勇気を映画から感じることができそうですね。

※この企画のAirてっしでの放送時間は，毎月1日と１０日の午前と午後の予定。土・日・祝日のときは、その翌日の放送となります。

「名寄市からのお知らせ」を放送中
市からのお知らせやイベント情報などを紹介しています。
放送＝毎週月～金曜日 ❶ 8:10から ❷ 12:30から ❸ 17:10から